

## FROM ぼれぼれ

平成25年

7.8月

109号

～ ゆっくり たのしく ごいっしょに ～

私たちは地域に根差した介護事業を展開する「株式会社ひまわりの会」「社会福祉法人うねび会」を運営するぼれぼれグループです。  
皆様、スタッフのためのインフォメーション誌「FROMぼれぼれ」を隔月に発行させて頂いています。  
また、ぼれぼれホームページ(<http://www.porepore.co.jp/>)もリニューアルしております。合わせてご覧いただければ幸いです。



本薬師寺跡木アイアオイ ぼれぼれ中和アイサービス外出時撮影

## 産業医の役割について

～「ぼれぼれケアセンター白樺」産業医 笠原仁先生にお聞きしました～

うねび会で産業医をしていただいている笠原仁先生に産業医の役割等についてお忙しい中、取材させていただきました。その内容についてご紹介いたします。

## — 産業医の役割についてお教えてください。

笠原先生「職員が病気になったり、業務中に災害に巻き込まれることがないように、働きやすい職場環境を整備していくことが重要な役割と考えています。職員が元気に働くことができれば、ご利用者にも大きなメリットがあります。介護事業では、職場環境がご利用者介護の現場になりますので環境整備はさらに重要な意味を持っています。職員もご利用者もハッピーになることが大切なことだと考えています。」

## — 夏場に向かったの留意点について教えてください。

笠原先生「熱中症対策が重要です。熱中症についてしっかりと理解して対応することです。昔から言われている「お茶と梅干」を食することが理にかなっています。たくさん出たしょっぱい汗を補う必要があります。塩分と水分を含んだ経口補水液を施設に常備してもらいました。スポーツ飲料とは区別する必要があります。」

— PM2.5、新型インフルエンザ等日々色々なマスクミ情報のある中で、安心して暮らしていくためのアドバイスをお願いします。

笠原先生「中学時代に先生から『新聞は二つ読め』ということをお教えていただきました。マスクミに躍らされることなくあまり神経質にならずに冷静に対応することが重要です。ニコニコ笑って、のんきに暮らしていくことが長生きの秘訣であると思います。」

笠原先生には月1回の施設巡視に於いて、ご利用者視点でのきめ細やかな指摘をしていただいております。そしてうねび会では速やかに改善しております。笠原先生から「職員、ご利用者にとって安全な施設であり続けられるように支援していきます」とのお言葉をいただき、より安全なホームづくりを目指した活動をしていきたいと感じました。



ぼれぼれケアセンター白樺 施設巡視の様子